



この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2023年7月2日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部



池上彰の

聞いていいですか？

～加藤登紀子さんが語る平和～

少しでも痛みの少ない戦後を

7月2日(日) = 1、3面

ヒット曲「百万本のバラ」などで知られる歌手の加藤登紀子さん＝写真⑧＝が登場いたします。

加藤さんは子どもの時、旧満州（現中国東北部）から家族と一緒に日本に引き揚げました。その経験もあって、ロシアの侵攻によって

祖国を追われたウクライナの人々の映像を見る度に心が痛むのです。

ウクライナのゼレンスキー大統領は「我々は降伏しない」と表明しました。この言葉に加藤さんは、太平洋戦争での日本の姿を思い出し、「国を守る」という言葉の強さに引き

ずられて、日本はたくさんさんのものを失ってしまった、と語ります。そして「少しでも痛みの少ない戦後を考えるべきではないでしょうか」とも訴えます。

池上彰さんとの対談では、平和の大切さを語り合いました。

※先週はロシアのワグネル反乱報道のため休載しました。再掲です。



～明治神宮外苑再開発～

自然環境への影響は？

7月2日(日) = 総合面

明治神宮外苑地区（東京都）で神宮球場などを建て替え、新たな高層ビルをつくる再開発を巡り、自然環境への悪影響を心配する声が広がっています。計画の見直しを求める署名は、これまでに約20万人分が集まりました。

た。そもそも東京のど真ん中にある豊かな緑はどのようにしてつくられ、守られてきたのでしょうか。再開発の何が問題で、これからどうなるのでしょうか。現場で取材を重ねた記者が疑問に答えます。



明治神宮外苑地区のイチヨウ並木＝2023年5月4日撮影



論点 人口減少と少子化問題

2070年には日本の人口が今より3割減って870万人になり、その1割が外国人。国立社会保障・人口問題研究所が4月に公表した推計です。人口維持には一人の女性が生涯に産む子どもの数に相当する合計特殊出生率

が2を超える水準になければなりません。22年は1.26です。岸田文雄首相は「異次元の少子化対策」を掲げていますが、人口減少は食い止めることができず、この難問に、どう対応すべきか考え

7月5日(水) オピニオン面

特集 ワイド

コロナ第9波？治療薬の最前線

7月3日(月) = 夕刊特集ワイド



新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが、季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行して、もうすぐ2カ月。感染者数は緩やかに増加し、政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会の会長だった尾身茂氏＝写真＝も「第9波が始まっている可能性がある」と指摘しています。

そうなるのが、コロナ治療薬。その効き目はいかに。専門家を直撃しました。



毎日新聞

(中村馨)

毎日新聞日曜版で人のコラム「違和感」の書籍化を記念し、7月12日に松尾さんご本人がライターの武田砂鉄さんをお相手にトークするイベント「今夜は、『ちよつと違和感』」を開催します。参加者をネットに二人が語るコーナーもあります。ぜひ、連載をお読みの方にもお薦め、ぜひご参加ください。

